

**久米島町新型コロナウイルス感染症対策に係る経済回復プラン**  
**経済回復に向けた取り組み**

久米島町民の皆様には、これまで久米島町からお願いしている新型コロナウイルス感染症への各種対策にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

国は5月25日、すべての都道府県で緊急事態宣言を解除しました。まん延防止のため制限してきた社会経済活動を段階的に再開する必要があります。

今後は町民生活の安定化に向けた支援の継続実施や経済回復に向けた取り組みを加速化させるとともに、新型コロナ禍以前に近い生活を取り戻し、安心・安全な観光地として水際対策をしっかりと行いつつ、深刻な影響を受けている観光関連産業の経済回復に積極的に取り組みます。

新型コロナウイルス感染症は、今後第2波、第3波の感染流行が予想されており、長期的な感染予防対策が求められています。そのため、人と人の距離の確保やマスクの着用、手洗いを基本とする「新しい生活様式」の定着にむけた取り組みが必要となります。

については、町民、事業者の皆様のご理解とご協力の下、下記のとおり取り組んでまいります。

令和2年5月28日

久米島町長 大田 治雄

1. 町が実施する主な取り組み（水際対策等）

- (1) 久米島空港の到着ロビーにおいて実施しているサーモグラフィーによる測定で発熱が確認された乗客に対して、宿泊先での健康観察、自主的隔離や島内での移動制限を求めます。
- (2) 船舶で来島する方は、那覇出港時に発熱が確認された乗客に対して、来島を控えるよう要請します。町民へは、帰宅後の健康観察、自宅待機を求めます。

2. 町民の取り組み

- (1) 町民は、人と人との距離の確保やマスクの着用、手洗いを基本とする「新しい生活様式」を定着させ、三密の徹底した回避等の持続的な感染予防対策に一人一人が取り組むとともに、買い物や食事外出の際は、感染予防対策がなされている店舗や施設を選択するようお願いいたします。
- (2) 感染者・医療従事者・来訪者等に対する誤解や差別を行うことは許されません。正確な情報を入手し、差別的な言動には同調しないことを心掛け、冷静な行動に努めましょう。

3. 事業者の取り組み

< 共通事項 >

- (1) 各事業所においては、従業員のマスク着用等の感染防止対策のほか、密閉、密集、密接の三密を避ける営業を行う。
- (2) 各事業所においては、日々店内の消毒作業を徹底し、接触感染を防ぐ措置を行うこと。

- (3) 各事業所においては、「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインの作成について（沖縄県）」を参考に独自のガイドラインを作成し、安心して施設利用できるよう取り組むこと。

#### <飲食事業者>

- (1) 密にならないための対策
- ①店内が混雑しないよう、必要に応じて入店制限を行う。
  - ②来客が並ぶ場合、2 m程度の間隔で床に立ち位置を示すテープを貼り誘導する。
  - ③テイクアウトやデリバリーサービスの提供に努める。
- (2) 発熱、咳等の症状がある方の入場制限
- ①発熱、咳等の症状がある方については、原則として入店をお断りする。
  - ②店内に体温計を設置し、必要に応じて検温するよう協力を求める。
- (3) 接触感染対策
- ①席は対面にならないよう配置を工夫し隣同士の間隔も可能な限り広くする。
  - ②食器類の共有をしない。不特定多数の人が触る恐れのあるピッチャーなどは置かない。
  - ③ビュッフェ形式は辞めましょう。ビュッフェ形式をやらざるを得ないときはスタッフが取り分けるなど、感染症対策を行う。
- (4) 飛沫感染対策
- ①カウンターなどで席が対面となる場合、透明ビニールカーテン等で遮蔽する。
- (5) 地元客と観光客の接点を作らない
- ①観光客と地元客の接点が生じないように、店内に観光客専用エリアを設けるよう努める。トイレ、エレベーターなど接触の機会が生じる場所にはアルコールを設置する。

#### <宿泊事業者>

- (1) 宿泊施設においては、宿泊客の毎日の検温と健康状態の確認の徹底をお願いします。宿泊客に発熱等の新型コロナウイルス感染が疑われる症状があった場合は、南部保健所またはコロナ相談センターに連絡し指示を仰いでください。
- (2) 宿泊客へ、帰省後に新型コロナウイルスへの感染が確認された場合の情報提供の協力同意を得るよう努める。
- (3) 宿泊客に新型コロナウイルス感染が疑われる症状が出た場合の対処方法について、フローチャート等を作成し対応に備える。

#### <公共交通機関>

- (1) タクシー、バスなどの公共交通機関は密室空間になりやすく感染リスクが極めて高いため、マスク着用と乗車の際に手指のアルコール消毒を求める。
- (2) 会話により運転席へ飛沫が飛ばないようにシートなどでブロックし、窓を閉め切らないなどの対策を行う。